

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	オリジナル作品制作1	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	時々、授業内容によって資料を配布する。毎授業ノートはとってもらいたい。				
担当教員情報					
担当教員	坂詰美紗子、鈴木一義、甲斐健児		実務経験の有無・職種	有・シンガーソングライター、作家	
学習目的					
<p>楽曲の基本とも言える4リズムセクションの打ち込みを体得することで、打ち込みの基本について学ぶ。</p> <p>他の授業との連携により個々で作成したリードシートを元に打ち込みを行い、自分がどのような曲を譜面に書いていたのかを認識するとともに、実際に打ち込むことで分かるミスや違和感を基に譜面のアップグレードを行う。</p> <p>また基本的なDAWの操作に関しても楽曲制作を通じて学ぶ。</p> <p>基本は一人で作業することが多いので、そういった状況での問題を打破できる解決能力を養う。</p>					
到達目標					
<p>ベーシックな楽器編成で歌モノをワンコーラス作ることを目標とする。</p> <p>楽曲の構成（イントロ、Aメロ、Bメロ、サビ）をコード進行や楽器隊のアレンジで上手く表現出来るようになる。</p> <p>自分で作成したリードシートを実際に音楽として形にしていくことで論理的な思考で曲を作れるようになる。</p> <p>小さな目標を毎週クリアしていくことで問題を打破していく能力を身につける。</p> <p>他の授業で分からなかった点やさらに発展した内容を補完できるとなお良い。</p>					
教育方法等					
授業概要	この授業では、全体に向けた指導だけでなく生徒一人一人にヒアリングを行い、それぞれの生徒に合った指導を行う。個々の作業が中心となるので、楽曲の進捗や実力に合わせて指導の内容も変わるが、最終的には足並みが揃うように調整していく。				
	ほとんどの生徒が初めて本格的に曲を作るので、まずは曲作りに対しての苦手意識を持たないよう、より簡単なところからしっかりと基礎を固めていく。				
注意点	授業の中で自発的に質問や意見を言えるような環境を構築できることが大切であるので、生徒には積極的な授業参加を求めるものとする。基本的には自分一人で作業を進めていく授業体系故、同じところで長く留まることがないように自ら打開策を見つけられるよう努めることを求める。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	授業目的等の共有、教員自己紹介		授業の目的を理解してもらうことで共通の目的意識を持ち、授業に取り組む姿勢について確認する		
2回	DAWの基本操作と打ち込み		基本操作を学び、打ち込みをする為の準備をする		
3回	メロディの打ち込み		適当なシンセを用いて指定された歌メロを打ち込む		
4回	メロディとコードの打ち込み		適当なシンセを用いて指定された歌メロとコードを打ち込む		
5回	4リズムセクションについて		4リズムセクションの基本について学ぶ		
6回	ドラムの基礎		ドラムのビートや各打楽器の役割について学ぶ		
7回	ドラムの打ち込み		指定されたビートの打ち込みとフィルの作成		
8回	ベースについて		ベースの基本知識と役割について学ぶ		
9回	ベースの打ち込み		前回打ち込んだビートにベースをつける		
10回	ピアノについて		ピアノの基礎知識と役割について学ぶ		
11回	ピアノの打ち込み		前回までのデータにピアノでコードやメロをつける		
12回	ギター、シンセについて		ギター、シンセについての基礎知識と役割について学ぶ		
13回	ギター、シンセの打ち込み		前回までのデータにギターorシンセでコードやメロをつける		
14回	4リズムセクションで短い曲の作成①		8～16小節程度で4リズムセクションの曲を作成する1		
15回	4リズムセクションで短い曲の作成②		8～16小節程度で4リズムセクションの曲を作成する2		